

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド2017-12（限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付）」は、このたび第7期の決算を行いました。当ファンドは米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を実質的な主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。また、実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減させるため、原則として為替ヘッジを行います。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額（当作成期末）	9,868円
純資産総額（当作成期末）	3,382百万円
騰落率（当作成期）	3.5%
分配金合計（当作成期）	80円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することを定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書

パインブリッジ 米国ライジングスター 好利回り債券ファンド 2017-12 (限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付) <愛称：ライジングスター 17-12>

追加型投信／海外／債券

第4作成期

(2019年3月21日～2019年9月20日)

第6期（決算日：2019年6月20日）

第7期（決算日：2019年9月20日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

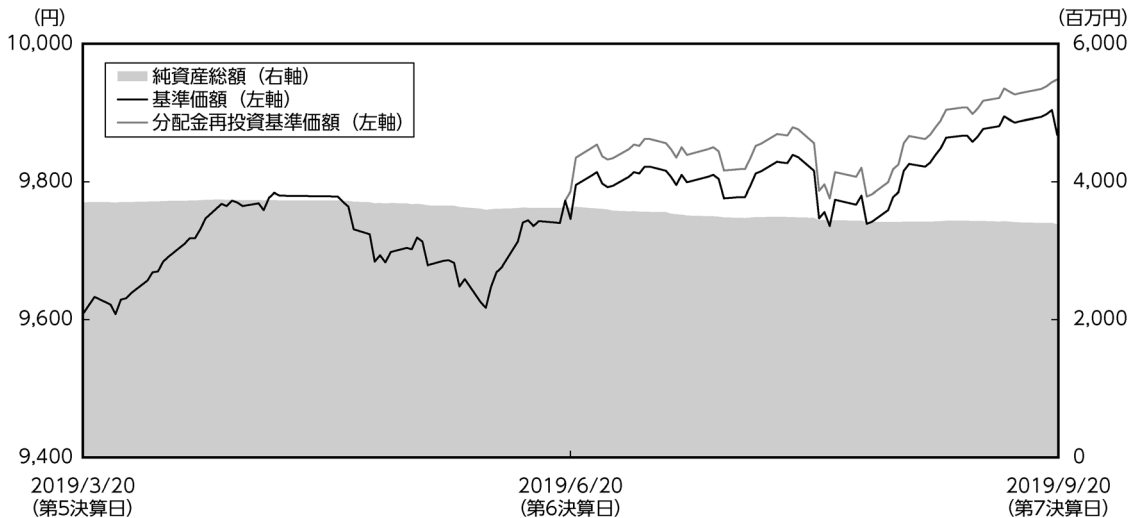
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年3月21日～2019年9月20日)

基準価額等の推移



第 6 期 首 : 9,610円

第 7 期 末 : 9,868円

(作成対象期間中の既払分配金 : 80円)

騰 落 率 : 3.5% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド」の基準価額が上昇したことで当ファンドの基準価額は上昇しました。また、FRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ決定により米ドルの為替ヘッジコストが緩やかに低下したことが、基準価額へのプラス要因となりました。

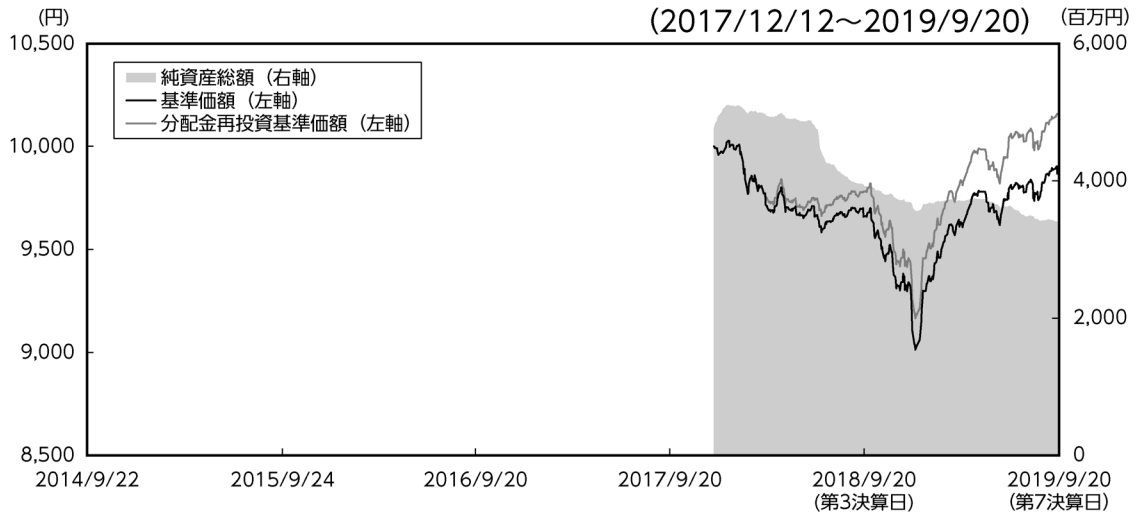
1万口当たりの費用明細

項 目	第6期～第7期 (2019.3.21～2019.9.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.722%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,760円です。
(投信会社)	(34)	(0.353)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.353)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	72円	0.741%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

					2018/9/20 決算日	2019/9/20 決算日
基準価額	(円)				9,658	9,868
期間分配金合計（税込み）	(円)				120	160
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)				△2.2	3.9
純資産総額	(百万円)				3,925	3,382

※2018/9/20決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

投資環境について

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は、上昇しました。作成期首から5月初旬までは、FRBのハト派スタンスへの転換等を好感し、上昇基調で推移しました。その後、米中貿易摩擦の激化懸念が台頭したことでリスク回避姿勢が強まり一時的に軟調となりましたが、安定感のある企業業績や、政策金利引き下げ期待の高まり等により下支えされ上昇に転じました。しかしながら、8月に入り米国が中国製品に対する追加関税を発表したことをきっかけに、信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が拡大したものの、米国債利回りが急低下し、引き続き魅力的な利回り水準が残る好利回り債券への需要が高まったこと等を背景に上昇基調で作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド2017-12 (限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付) >
 パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンドへの投資割合を高位に保ちました。マザーファンドを通じて投資している証券はすべて外貨建てとなっていますが、為替変動リスクを低減する目的から為替ヘッジを行っています。
 <パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド>
 作成期末時点のポートフォリオは174銘柄で構成されています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第6期、第7期それぞれ40円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

(単位: 円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第6期	第7期
	2019年3月21日～2019年6月20日	2019年6月21日～2019年9月20日
当期分配金	40	40
(対基準価額比率)	0.409	0.404
当期の収益	40	40
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	446	526

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

2019年4-6月期決算は、予想通りの内容となる中、利益成長予想に関しては控えめなものとなりました。負債比率はやや上昇したものの、EBITDA（金利・税金・償却前利益）の増加に伴いインタレストカバレッジ（企業の利息の支払能力）は良好な水準を維持しています。2019年後半にはデフォルト率の小幅上昇が予想されますが、デフォルトの可能性のある銘柄についてはすでに相応の価格形成となっており、デフォルト見通しは相対的に良好です。バリュエーションは、鈍化傾向にある業績見通しとマクロ経済の見通し等を踏まえると適正な水準にあると見ていますが、引き続き市場心理の悪化等により変動率が高くなることが予想されます。需給面では、引き続き堅調な資金流入が期待されるのに対し、新規発行市場は低水準ながらも拡大傾向にあると見ています。

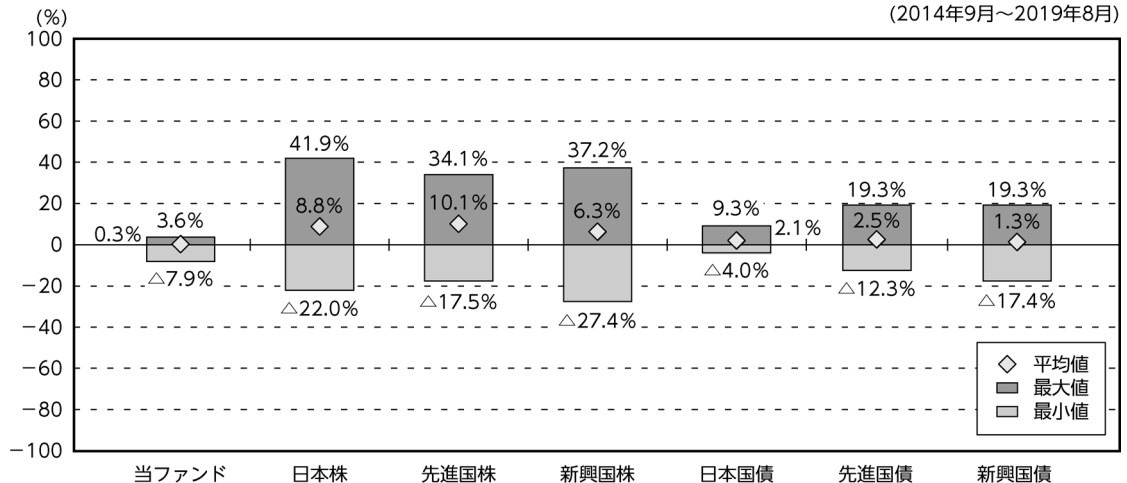
運用方針

- <パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド2017-12（限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付）>
「パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド」への投資を通じて、米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。為替変動リスクを低減する目的から為替ヘッジについても継続します。
- <パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド>
米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年12月12日から2022年12月29日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・2020年12月30日以降、基準価額(支払済の収益分配金を含みます。)が11,000円以上となった場合には、実質的に保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還を行います。 ・実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減させるため、原則として為替ヘッジを行います。 ・マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー(PineBridge Investments LLC)に外貨建資産の運用に関する権限を委託します。 	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資は、転換社債の転換請求ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するものに限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、転換社債の転換請求ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3、6、9、12月の各20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年9月～2019年8月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2017年12月12日設定のため、2018年12月から2019年8月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数 (TOPIX) 配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み・円ベース) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース) は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (ヘッジなし・円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

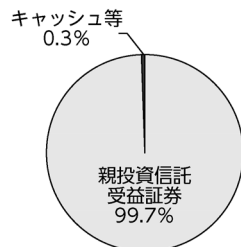
当ファンドの組入資産の内容 (2019年9月20日現在)

●組入銘柄 (組入銘柄数：1銘柄)

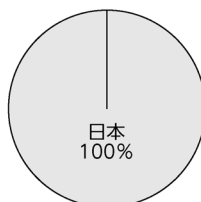
銘柄	比率(%)
パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド	99.7

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

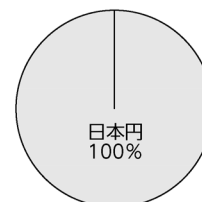
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

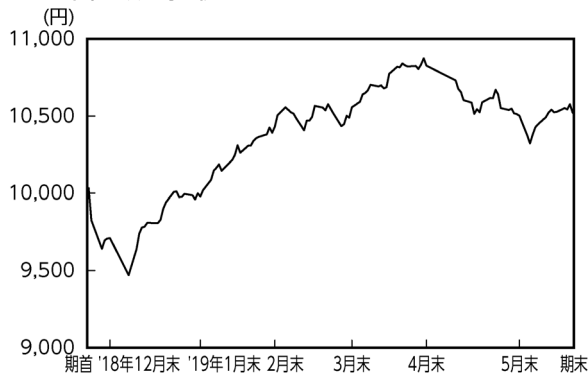
項目	第6期末	第7期末
	2019年6月20日	2019年9月20日
純資産総額	3,623,017,503円	3,382,104,044円
受益権総口数	3,717,334,334口	3,427,174,879口
1万口当たり基準価額	9,746円	9,868円

※当作成期間（第6期～第7期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は424,479,631円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンドの組入資産の内容（2019年6月20日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
その他費用	1円
(保管費用)	(1)
合計	1円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものであります。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

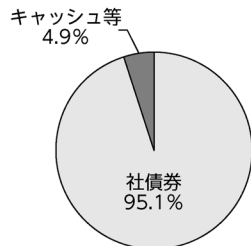
（組入銘柄数：176銘柄）

銘柄	資産	国	通貨	比率(%)
SPRINT CORP	社債券	米国	米ドル	3.4
CSC HOLDINGS INC	社債券	米国	米ドル	1.8
CENTURYLINK INC	社債券	米国	米ドル	1.5
DELL INT LLC / EMC CORP	社債券	米国	米ドル	1.3
BAUSCH HEALTH COS INC	社債券	カナダ	米ドル	1.2
HCA INC	社債券	米国	米ドル	1.1
ALTICE FRANCE SA	社債券	フランス	米ドル	1.1
ALTICE FINANCING SA	社債券	ルクセンブルク	米ドル	1.0
BELO CORP	社債券	米国	米ドル	1.0
CHENIERE CORP CHRISTI HD	社債券	米国	米ドル	0.9

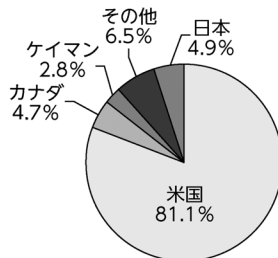
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

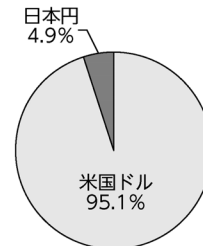
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。